

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 366

事務事業名	シルバー人材センター事業
-------	--------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	商工振興課		
課長名	高取 和也	内線	240
担当者名	堀口 一成	内線	245

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040302	企業誘致の推進と新たな雇用の創出
施策		若者や高齢者の就業支援
関連施策		

会計	一般会計	
款	5	労働費
項	1	労働諸費
目	1	労働総務費
事業コード	020100	シルバー人材センター事業

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	大村市シルバー人材センターに登録している高齢者		
意図	高齢化社会が進展する中、高齢者の労働力活用を図るため、シルバー人材センター事業の活性化により、高齢者の就業機会の拡大を図る。		
事業概要	高齢化社会が進展する中、高齢者の労働力活用を図るため、シルバー人材センター事業の活性化により、高齢者の就業機会の拡大を図る。		
事業期間	昭和 63 年度 ~ 平成 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	大村市シルバー人材センター事業費補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 職員数	計画値	7	7	8	9	
		実績値	7	8	8		
	シルバー人材センター職員数	達成度	100.0%	114.3%	100.0%		
		計画値	670	685	700	700	
成果指標	② 会員数	実績値	542	609	643	平成27年度目標700人(各年+15人)	
		達成度	80.9%	88.9%	91.9%		
	シルバー人材センター会員数	計画値	48,100	50,500	53,000		53,000
		実績値	53,057	56,488	60,267		
① 就業延人員数	シルバー人材センター会員の就業延人員数	達成度	110.3%	111.9%	113.7%	平成25年度から派遣事業述べ人員を加えた	
		計画値	4,900	5,100	5,300		5,500
	② 受注件数	実績値	5,177	5,286	5,434		
		達成度	105.7%	103.6%	102.5%		
シルバー人材センターが受注した件数							

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	10,180	10,224	10,232	14,483	14,483	14,483	14,483	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	10,180	10,224	10,232	14,483	14,483	14,483	14,483	
② 人件費(千円)	1,308	1,539	1,209	903	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.14	0.20	0.17	0.12	シルバー人材センターの業務運営に対する補助	シルバー人材センターの業務運営に対する補助	シルバー人材センターの業務運営に対する補助	
時間外勤務(時間)	5	14	5	15				
嘱託等人数(人)	0.10							
フルコスト(①+②千円)	11,488	11,763	11,441	15,386				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	シルバー人材センターに対する国の方針で、平成27年度から高齢者活用・現役世代雇用サポート事業が新たに加わり、その事業を実施するシルバー人材センターへの補助額が増額された。本補助制度は国と市の協調補助制度であり、国の補助制度を有効的に活用するために、28年度からシルバー人材センターへの助成額を増額した。
事業が抱える問題・課題等	会員数の増加を図っているが、目標達成には至っていない状況である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	高齢者に就業の機会を提供し社会参加を促すことで、生きがいと健康増進を図り、地域活動を活発化させるためにも必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	高齢者の就業機会の確保という公共的な役割を果たしており、市の関与が必要である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	会員数については目標は達成していないものの増加し、就業延べ人員数及び受注件数も増加している。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	高齢者の生きがい対策、地域の活動を活発化させるために有効である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	平成28年度からサポート事業の事業量増加による国との協調補助で増額を行ったため、当面据え置く。						
【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし		

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性
現状維持

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	平成27年度から新設された高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を推進するため、28年度からシルバー人材センターへの助成額を増額した。サポート事業の推進とシルバー人材センター事業の充実を図る。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	シルバー人材センターによる地域高齢者を積極的に活用していくための取組が拡充され、地域高齢者の活躍の場を広げることができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。